

【LOM内で新型コロナウイルス感染症患者が発生した際の措置について】

12月6日、LOMメンバー1名がPCR検査によって新型コロナウイルス感染症陽性と診断されました。その件について、日本JCの作成したガイドライン『JCメンバーに新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対応について』（添付資料を参考）における「JC運動以外でメンバーに感染者が発生した場合（ケース2）」（JC運動以外で感染し、感染発覚から遡って2週間以内にLOMのJC運動に参加していた場合）に該当したため、以下の措置を行った。

感染発覚前（2020年12月5日まで）

- ・症状は無かった。

感染発覚当日（2020年12月6日）

- ・陽性者より連絡あり

非濃厚接触者であったが自ら抗原検査を受け陽性反応が出たので、保健所に問合せ、PCR検査を受けた。結果、検査機関よりも陽性の連絡を受けた。推測される感染ルートや現在の症状を聴取。現役会員との接触は、発症日の2日前となると該当は無し。

- ・保健所からの指導のもと、発熱もなく軽症のため10日間の自宅療養

感染発覚翌日（2020年12月7日）

- ・兵庫ブロック協議会の運営専務に連絡。LOM内で感染者が発生したことを伝える。
- ・シニアクラブ執行部にLOM内で感染者が発生した旨を連絡。
- ・「LOMにおける感染者発生チェックシート」を兵庫ブロックに提出。
- ・事務局員にLOM内で感染者が発生した旨を連絡。
- ・感染者本人と連絡、症状の確認。
- ・全体メールにて会員に周知

その他

今回で3度目ということで、スムーズな対応ができた。今回も無症状ということで、無症状の怖さを感じた。事業等の開催方法についても再度検討することを視野に入れ行動していくべきだと考える。そのためにも、次年度以降は第3者を筆頭に特別本部を設置する等対応策を考えていく必要がある。

（文書作成者 専務理事 吉原秀一）